# 公認山岳（アルパインクライミング）コーチ3
# 資格概要

2019年4月1日現在

| | | | |
|---|---|---|---|
| 主催 | | | 公益財団法人日本スポーツ協会<br>公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会 |
| 養成目的 | | | 全国レベルにおいて、登山者全体に厳冬期を含む積雪期、無雪期を問わず安全な登山が指導出来る指導者を育成する。 |
| 役割 | | | 全国レベルでの登山全体の普及に努め、日本山岳協会の講習会・研修会、文登研の研修会で講師が出来ること。本州3,000m級山岳地帯において積雪期登山のリーダー候補者に指導が出来ること。 |
| 養成講習会に係る内容 | 受講条件 | | 上級指導員資格取得後5年以上経過している者。または受講年度の4月1日現在満25歳以上で都道府県山岳連盟（協会）に所属し、同連盟が認める者で下記の実績のいずれかを満たす者。<br>（1）国内外を問わず、夏冬を問わず、著名ルートを第5等以内で登っていること。<br>（2）文部科学省登山研究所講師5年以上。<br>（3）7000m以上の高峰の登頂者、但しその時の役割は登攀隊長以上。<br>日本山岳協会が認めれば専門科目は1、2のレベルを通り越して受講も可能。 |
| | 受講科目 | 共通科目 | 共通科目Ⅲ（150h） |
| | | 専門科目 | コーチ3専門科目（60h）　※別紙カリキュラム表参照 |
| | 受講料 | 共通科目 | 共通科目Ⅲ：22,000円（税込）／教師：61,600円（税込）※別途リファレンスブック代 |
| | | 専門科目 | 専門科目：実施団体が定める |
| | 実施方法 | 共通科目 | 別に定める共通科目実施要領に基づき日本スポーツ協会が実施する |
| | | 専門科目 | ■講習会<br>カリキュラム（60時間）に基づき、JMSCAが直接集合講習会と通信講習（レポート）により開催する。実際の実施計画については、JMSCAとJSPOとの相談の上実施する。<br><br>■検定試験<br>JMSCA指導委員会が作成・出題し、筆記試験、レポート評価、技能検定の総合判定とする。<br><br>■審査<br>合格者の判定は筆記試験、レポート評価、技能検定の総合判定結果を基に、JMSCA指導委員会で審査の上、原則として満点の6割以上を合格とする。<br><br>■免除要件 |
| 登録に係る内容 | 登録料<br>（4年間） | | 基本登録料：10,000円 |
| | | | 資格別登録料：　　円 |
| | | | 初期登録手数料（初回登録時のみ）：3,300円 |
| | 更新登録要件 | | 資格登録有効期限の6か月までに、最低1回は、JMSCAが定める研修会またはJSPO（都道府県体育協会が実施する（認める）研修を含む）が実施する研修を受けなければならない。 |

| | |
|---|---|
| 特記事項 | |

公認山岳（アルパインクライミング）コーチ3

2019年4月1日現在

| 区分 | カリキュラム内容 | | 時間数 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | No. | 科目 | 集合 | その他 | 計 |
| ①<br>基礎理論<br>（総合的に） | ① | 指導者と岳連、日山協の組織 | 2.00 h | 0.00 h | 2.00 h |
| | ② | 登山医学（運動生理、ドーピングなど） | 2.00 h | 0.00 h | 2.00 h |
| | ③ | 積雪期の登山（積雪と雪崩を中心に） | 0.00 h | 2.00 h | 2.00 h |
| | ④ | 登攀技術（確保理論、グレードの理解を中心に） | 0.00 h | 2.00 h | 2.00 h |
| | ⑤ | 遭難対策（セルフレスキュー・チームレスキュー） | 0.00 h | 3.00 h | 3.00 h |
| | ⑥ | 指導法、指導者の心構え | 2.00 h | 0.00 h | 2.00 h |
| | ⑦ | 法律（山岳事故、リーダー責任など具体例の研究） | 0.00 h | 2.00 h | 2.00 h |
| | ⑧ | 山岳競争（大会の種類、運営など） | 2.00 h | 0.00 h | 2.00 h |
| | 小　計 | | 8.00 h | 9.00 h | 17.00 h |
| ②<br>実技・指導実習<br>（登攀・氷雪） | ① | 積雪期の歩行技術（ラッセル、ルート選定含む） | 2.00 h | 0.00 h | 2.00 h |
| | ② | 積雪期の生活技術（簡易露営、雪洞含む） | 4.00 h | 0.00 h | 4.00 h |
| | ③ | 登攀技術（自然の岩場にて登攀・確保全般及び用具など） | 4.00 h | 4.00 h | 8.00 h |
| | ④ | 氷雪技術（登攀・確保全般及び用具など） | 4.00 h | 4.00 h | 8.00 h |
| | ⑤ | 山岳スキー技術（ルート選定、歩行、滑降など総合的に） | 5.00 h | 0.00 h | 5.00 h |
| | ⑥ | 登攀時の遭難対策（連絡、捜索、搬送実習などセルフレスキュー） | 5.00 h | 1.00 h | 6.00 h |
| | ⑦ | 積雪期の遭難対策（連絡、捜索、搬送実習などセルフレスキュー） | 8.00 h | 2.00 h | 10.00 h |
| | 小　計 | | 32.00 h | 11.00 h | 43.00 h |
| | | | 40.00 h | 20.00 h | 60.00 h |